

福井町長 平成最後の牟岐町12月定例議会を迎えるにあたり、所信を申し上げます。私は、平成23年1月、牟岐町の寂れ行く町並や山野の光景を見るに忍びず、己の力も顧みず町長に立つ決意をしました。そして、行動を開始した矢先、3月11日、未曾有の大災害、東日本大震災が発災しました。東北地方を中心に1万8千人余りの死者・行方不明者を出しましたが、幸い、牟岐町に被害はなく、私も町長として町政を開始しました。しかしながらこの大震災により、当初の目的である町の再生よりも、近い将来発災が危惧される南海トラフ地震対策を優先することとなりました。当時計画が進められていた小学校の高台移転を実施し、保育所の移転、給食センターの移転、そしてこれまで町民の皆様の悲願であった海部病院の高台移転を徳島県とともに実施しました。しかしながら、短期間で集中的に大きな事業を継続したこともあり、財政的な理由などから役場の移転が実施できていません。当初から私は、財政的に厳しいことと、町の中心部の衰退を防ぐため、「防災センターを高台に建設し、他の役場機能は旧海部病院跡に移転すべきである」と考え、2期目の選挙公約としても訴え続けてまいりました。しかしながら、平成29年4月、役場耐震化移転等検討委員会から、「津波に対する安全性を確保するため、全役場機能を高台に移転すべきである」旨の答申をいただき、これ以降、防災と牟岐町創生を如何に両立するか悩み続けてまいりました。と申しますのは、この牟岐町の西地区は、もともと、小学校、保育所、役場、海部病院と多くの公共施設が集まる地区であり、これらの施設とともに町が形造られ発展してまいりました。いわば牟岐町の中心である西地区から、現在既に、小学校・保育所・海部病院が移転し、そのうえ役場まで移転したのでは、地区内の住民の皆さんの生活だけでなく、牟岐町の活性化に大きな支障をきたすと考えたからで、逆に私は、耐震性を備えた旧海部病院に役場機能の一部を移し、10年から15年、町の活性化のために、また、今後のまちづくりのために、町民の皆様と一緒に取り組んでいただきたいと思いますと考えていました。役場の一部が入ることで、小さな民間組織や事業所も入りやすくなり、また廊下・階段などの

供用施設を、高齢者の方々のリハビリや運動に利用し、健康管理に役立てていただきたい、また、大雨の時は、避難所としても利用していただきたいと考えていました。しかしながら、この私の考えは、検討委員会を始め町民の皆さまの何割かの方の理解を得られなかったことで、私が町長を継続した場合でも、私の考えていた「牟岐町のまちづくり」の推進が困難であると思われたことから、私が町長職を辞し、今後の町政は他の方に委ねるべきであると判断いたしました。現在、牟岐町の一次産業は毎年のように出荷額が落ち、周辺環境の悪化からも、かつてのような再生は難しいと考えています。例えば漁業は、水揚げが少ないのに魚価が安い、林業は、木材価格が安く、木材の伐り出し手間で儲けが出ない、また農業は、もともと生産性が低く家族を養うのが大変な上に、鳥獣害が解決せず、より厳しい状況にあります。したがって、なんとか観光の振興により交流人口を増加を図り、一次産業の売上を上げる、また、新たな6次産業化を図る、また、新しい観光商品を開発するなど観光産業を創造するしか方策はないように思います。そのためにも、出羽島やモラスコむぎなどの観光拠点を積極的に活用することが重要であると考えています。道半ばにして町長職を辞し、関係者の方々には申し訳ございませんが、今後とも、一次産業と観光産業の振興に取り組んでいただきたいと思います。また、牟岐町議会で反対決議された、内妻にあるゴミ焼却施設の改築ですが、私は今も現在地での改築が理想だと考えています。かつては、ゴミ焼却施設の排気ガスの環境汚染が問題となり、そのイメージから多くの自治体で、ゴミ焼却施設の建設に住民の皆様が反対されていますが、新しい焼却施設による排気ガスは、現在の牟岐町の焼却施設が排出するものより、環境上、格段に良くなっており、その汚染物質の総量は、新しい施設を30年間稼働する場合と、牟岐町のものを1か月余り稼働するのと変わらないという調査結果が出ています。もちろん施設がないことが環境上はベストかもしれませんが、現実的には、現在のものをできるだけ早く改築することが、総量的には、牟岐町の空気環境を良くすることになると考えています。また、南海トラフ地震の時は、電気

も無く、LPガスも無駄遣いできず、他の避難所は風呂などはないと思いますが、現在地で改築すれば、ゴミを焼却する排熱を利用した銭湯を営業することが可能となるばかりか、今後の計画によっては、発電も可能となるかもしれません。つまり、平時は、ゴミを活用した再生可能エネルギーを生産する施設として地域に、また、地球環境に貢献できると思います。これまでゴミは、処理に多額の経費を要する厄介者でしたが、科学技術の進歩した現在では、ゴミを資源として利用するところが増えています。財政的に厳しい牟岐町では、知恵をしぼり、マイナスをプラスにする方法を、また新たな財源を稼ぐ方法を模索していく必要があると考えています。また、残土処分場として、内妻とかんばが選定されていますが、現在、幾つかの課題があり、双方とも確定はしていないと思っています。多くの皆さんは、残土処分場は、ただ土を捨てるだけの場所としてしか考えていないようですが、私は、土地需要の低下から、牟岐町で宅地造成などを行う民間業者が居なくなる中、残土処分場は、公共が行える数少ない土地造成の絶好の機会だと考えています。残土処分をできるだけ早く終え、皆様が利活用したいと思える造成地が、私は、牟岐町の創生と防災には必要だと考えています。今後、再考の機会がありましたら、処分場の体積は十分でなくとも、現在の牟岐町の中心部に近いところで、民間の事業者の方が利用したいと思われる場所を選定していただきたいと思います。最後に、私が町長を志してから約8年が経過しようとしています。牟岐町再生に関し、未だ、思い描いていたような結果は得られていません。牟岐町が将来、持続可能であるためにも、また、町民の皆様に、牟岐町に住み続けたいと思っていただくためにも、産業の振興を図り、守りたいと思える仕事を創り残す必要があります。かつては漁業と林業のまち牟岐町、海部郡の商業のまち牟岐町でしたが、現在は、『牟岐町の産業は何か？』と聞かれたら返事に窮する状況にあります。このままでは、南海地震に襲われた後、牟岐町に戻りたいと思える人が居ないのではないかと危惧しています。したがって、将来、牟岐町が持続できるためにも確たる産業を残す必要があります。今、実行できなけれ

ば、牟岐町の将来はないと思います。町の予算を地方創生という不可能なことに使わず、いざという時のためにできるだけ多くの基金を作っておくべきだとの意見もあります。しかしながら、住民の皆さんあつての牟岐町であり、役場あつての牟岐町ではありません。多くの方に、住んでみたいと思われる牟岐町とするためには、ただ安心安全な町であれば良いのではなく、他町よりも町民の皆さんが稼げる町を目指す必要があると思っています。私は、町職員を始め多くの皆様方の今後の頑張りに期待し、また、皆様の牟岐町を愛する心を信じ、今季限りで町長を辞職したいと思います。これまで、ご支援をいただいた町民の皆様方に心から感謝を申し上げます。それでは、提案説明に入ります。本定例町議会に提出の議案は7件です。議案の内訳は条例改正1件、補正予算3件、その他3件です。議案第48号牟岐町個人情報保護条例の一部を改正する条例。個人情報保護法の規定により、要配慮個人情報を収集してはならない等の規定を設けるために条例の改正を行うものです。議案第49号学校業務支援システムの共同化に関する事務の委託。学校業務支援システムの共同化に関する事務を徳島県に委託するために規定を設け、議会の議決を求めるものです。議案第50号牟岐斎場の指定管理者の指定。牟岐斎場の指定管理者をかいふ農業協同組合に指定するもので、期間は平成34年3月31日までの3年間です。議案第51号町道の認定。健康管理センター横の道路を橘4号線として町道認定するものです。議案第52号平成30年度牟岐町一般会計補正予算。今回の補正の総額は、5,471万1千円となっています。歳出の主なものを挙げますと、15から18ページ、2款・総務費の企画費で生活バス路線維持確保補助金481万4千円、選挙費で県知事・県議会選挙費用374万5千円などを計上しています。19から22ページ、3款・民生費の老人福祉費で老人保護措置費707万7千円などを追加。23から24ページ、4款・衛生費の環境衛生費で斎場発電機75万6千円などを計上。25から26ページ、5款・農林水産業費の林業振興費で森林管理意向調査計画策定業務81万円などを計上しています。27から30ページ、6款・商

工費の観光費で健康管理センター登記業務手数料102万円などを計上。31から34ページ、7款・土木費の道路橋梁費で橋梁耐震補修工事1,200万円などを追加。35から36ページ、8款・消防費の非常備消防費で消防団出初式経費115万5千円を計上。37から40ページ、9款・教育費の中学校費で中学校空調設備290万円などを計上。41から42ページ、10款・災害復旧費で立石谷川災害復旧工事600万円を計上しています。歳入では、繰越金のほか、国費、県費、町債などを財源として充てています。歳入歳出5,471万1千円を追加し、歳入歳出予算の総額を30億7,894万1千円とする平成30年度一般会計補正予算です。議案第53号平成30年度牟岐町国民健康保険特別会計補正予算。今回の補正は、歳入歳出2,676万円を追加し、予算総額を6億7,998万1千円とするものです。歳出は療養給付費及び高額療養費の医療費などを追加しています。歳入は県支出金及び繰越金を充てています。議案第54号平成30年度牟岐町介護保険特別会計補正予算。今回の補正は、歳入歳出784万2千円を追加し、予算総額を8億335万1千円とするものです。歳出は、地域支援事業の各種サービスに係る負担金などの追加です。歳入は保険料、国庫支出金、支払基金交付金などを充てています。以上で提案説明を終わりますが、詳細については関係課長から説明いたしますので、ご審議の程よろしくお願ひします。